

台湾新北で桜植樹

市民団体「花の旅団」

国際交流に関心を持つ市民グループ「花の旅団」（川村博章団長）が、台湾の新北市を訪れた。小雨が降りしきる中、千葉市と新北市の友好交流の証しとして桜の植樹を行った。写真。

同グループは花を通じて国際交流を図ろうと毎年台湾を訪問している。今年メンバー12人が入国。新北市坪林区緑光農園で同市関係者らと、両市のさらなる友好を誓い桜を1本植樹した。



同グループの海外訪問は14回目。同市での植樹は6回目を迎え、川村団長は「両市の長い友好関係を期待して植樹した。今後も交流していきたい」と話した。